

平成 2 5 年 7 月 9 日 開 会

平成 25 年度第 4 回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
議案第24号 垂水市障害児就学指導委員会委員の委嘱について	垂水市障害児就学指導委員会委員を委嘱しようとするものである。(補欠委員)	特記事項なし	承認
議案第25号 垂水市特別支援連携協議会委員の委嘱について	垂水市特別支援連携協議会委員を委嘱しようとするものである。(補欠委員)	特記事項なし	承認
議案第26号 垂水市招致外国青年任用規則の全部改正について	今年度募集要項に合わせてこの規則の多岐にわたった改正が必要となったため、この規則の全部を改正しようとするものである。	特記事項なし	承認

平成25年度第4回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成25年7月9日（火）</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後3時10分</p> <p>小会議室</p>	<p>教育委員長 橋口 敬二</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育長 長濱 重光</p>	<p>教育総務課長 川畑 千歳</p> <p>学校教育課長 牧 浩寿</p> <p>社会教育課長 瀬角 龍平</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成25年度第4回教育委員会定例会を開会した。
議案第26号を除く議案第24号と議案第25号の2件は非公開で審議する旨、委員長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成25年度第3回教育委員会定例会会議録の承認

承認

3 委員並びに教育長及び課長報告

4 議 事

議案第24号 垂水市障害児就学指導委員会委員の委嘱について
議案第25号 垂水市特別支援連携協議会委員の委嘱について
議案第26号 垂水市招致外国青年任用規則の全部改正について

5 その他

6 閉 会

議事内容等

3 報 告	委員並びに教育長及び課長報告
委員長	教育委員、教育長及び各課長の報告をお願いします。
野村委員	<p>学校訪問して、教師が子ども達のために、日々、細かく丁寧に指導していると感じた。各学校は、研究テーマを持って学校運営を行っているが、エネルギーを使うと思う。特に、小規模校で研究テーマを、1, 2年かけて仕上げるのは大変であると思う。地区や県の指定の方法について説明して欲しい。</p>
委員長	学校教育課長に説明をお願いします。
学校教育課長	<p>市内の小・中学校では、どの学校も研究テーマを設定しており、指定の方法については、地区や県の指定を受けるにあたっては、教育事務所から照会がある。この他、学校が希望して市の指定を受けて行う場合もある。今年度、中央中は県指定、協和小は地区指定を、柗原小外4校は市の指定を受けている。校内研修の指導に行くが、本市はやる気のある学校が多く、熱気を感じる。教師の頑張りが子ども達に良い影響を与えるものと期待している。</p>
田原委員	<p>学校訪問して、各クラスでどのような学習指導の実践がなされているかが理解できた。全体的に市内の小・中学校とも、レベルの高い授業が行われていた。学校経営も学力向上や生徒指導、あいさつなど真剣に取り組まれていた。学力向上に関する垂水小の分析のような良い取組が、他の学校にも浸透していけば良いと思う。学校長の意図する形で教育活動が進められていた。</p> <p>研究テーマが深く掘り下げられていない学校も見受けられたので、教育委員会からアドバイスしていただきたい。学校訪問を終えての総括の発言が伝わったか、少し反省している。学校訪問で実態がつぶさに分かり、大事なことだと思った。</p>
委員長	研究テーマに教育委員会はどのように関わっているか、学校教育課長に説明をお願いします。
学校教育課長	<p>抽象的な部分を紐解いたり、自主性を損なわない範囲で指導している。県下でも特別活動の研究テーマは少なく、柗原小学校の取組は複式学級の学校として貴重である。</p>
中谷委員	<p>学校訪問は良い体験であった。</p> <p>今年4月に鹿屋養護学校に入学した児童が、地元の小学校に入学した友達に「教科書をもらったよ」と、嬉しそうに話したとのことである。松ヶ崎小の1年生3人の姿と重ねて見て、学校では一人ひとりの命を大事に育てていかないといけないし、一人ひとりが輝ける場所でないといけないと思う。</p>

中谷委員	<p>6月16日に生涯学習フェスティバルに参加したが、多くの市民の参加があり、垂水市民は、学ぼうという気持ちが強感じた。</p> <p>6月28日に中央中学校の家庭教育学級の話し合いに出席したが、子どもと一緒に成長したいという母親の気持ちを強く感じた。</p> <p>7月7日に垂水中央中学校の合唱コンクールに出席したが、どのクラスも素晴らしい歌声であった。文化会館2階の保護者席は私語が多かったのが残念であった。</p> <p>7月8日に地区公民館の高齢者の会議に出席したが、皆さん元気があり学校応援団に力を借りたいと思った。私も学校応援団の一人として、スクールバスに添乗した。</p> <p>6月15日に黎明館で始まった南日本女流美術展を鑑賞したが、地元在住の作家・井口さんの絵を描き上げる努力を子ども達に紹介したい。</p>
学校教育課長	<p>インクルーシブ教育が叫ばれる中、養護学校と地元の小学校のどちらでも入学できるように対応しながら、又、どのような力を身につけていくのが児童のために良いのか、保護者とも真剣に話し合いを進め、児童の保護者が養護学校が適切であるとの相談結果をもとに入学を決断された。</p>
教育長	<p>小・中学校8校の学校訪問を終えたが、全体的に児童・生徒の授業態度は良好である。学力向上の成果が出ている学校とそうでない学校があり、校長面談で率直に話して、努力を促した。</p> <p>垂水中央中学校の合唱コンクールでの生徒会文化部長の冒頭の挨拶を始め、各クラスの合唱も素晴らしかった。文化会館2階の保護者席は満員だったので、幼児が危なくないよう1階席を空けてもらった。文化会館の利用時は、通路は非常用スペースであるので、次年度からは監視を付けるなど手立てを講じるよう学校長にお願いした。</p> <p>鹿屋養護学校に入学した児童については、地元小学校への入学も考えて、施設整備費を予算化していた。障害児就学指導委員会の判定があっても、最終的には保護者が決定することになる。教育委員会と保護者が何回も話し合い、最終的には保護者が子どもの将来のことを考えて養護学校への入学を決断された。</p>
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	<p>6月13日から7月9日までの主な行事等について報告。</p> <p>併せて、8月9日までの予定についてお知らせした。</p>
野村委員	<p>公立学校教員等選考試験の垂水市内の学校に勤務している職員の例年の合否の状況はどうか。受験者がいる学校では、試験に向けての配慮はどのようにしているか。</p>
学校教育課長	<p>合否については、昨今の厳しい状況で昨年度は合格者は無かった。受験勉強については、本務を最優先で、しっかり取り組むよう見守っている。</p>
4 議 事	<p>議案第26号 垂水市招致外国青年任用規則の全部改正について</p>

学校教育課長	外国青年招致事業（JETプログラム）の今年度募集要項に合わせて規則の多岐にわたった改正が必要となったため、規則の全部を改正することを説明。
委員長	質問等はないか。
野村委員	現在の規則と比較して、どの部分が変わったのか。
学校教育課長	変更部分が、JET参加者の報酬額改定に伴う記載事項の明確化等、今年度募集要項に合わせて多岐にわたるので、全てを改正するものである。
委員長	他に質疑がないようなので、議案第26号は承認された。
	<p>議案第24号 垂水市障害児就学指導委員会委員の委嘱について （非公開）</p> <p>議案第25号 垂水市特別支援連携協議会委員の委嘱について （非公開）</p>
5 その他	特になし
6 閉会	